

☆地域包括ケアふじえだプロジェクト☆

平成30年12月25日 VOL. 86

健康づくり・介護予防のための地域づくり研修会を開催（健康推進課共催）

平成30年12月20日(木)藤枝市保健センターを会場に、市内7つの地域包括支援センター専門職（主任ケアマネ・社会福祉士・看護師）、生活支援コーディネーター、市保健師・管理栄養士、地域包括ケア推進課職員等約50人が参集し、データに基づく本市の現状を学び合い、各地域において**健康づくりや介護予防施策を一体的に展開していくこと**を確認しました。

まずはお互いの持っているデータについて学び合う

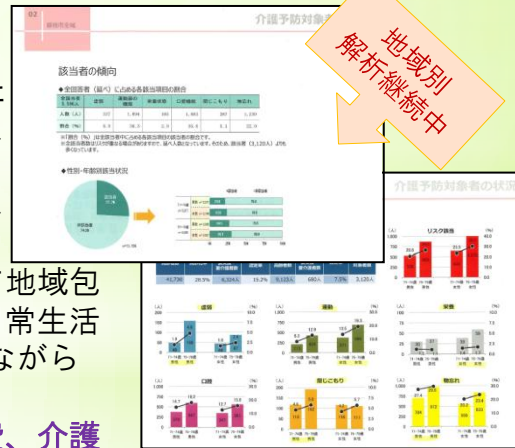
高齢者の介護予防や健康寿命の延伸のためには**地域の特性に合わせた健康づくり**が重要です。このためには保健や福祉分野が部署横断的に情報を共有しながら、時に協力し、時に連携しながら取り組んでいくことであり、これは胎児期から最期の時までを意識し生活に介入することを認識して、市民と共に進めていく必要があります。



そのため、まずは本市の70～79歳の高齢者に対して実施した**アクティブシニアチェック**について、受託機関の（株）アシストが、男性は加齢により虚弱や閉じこもりのリスクが上がること、女性は運動器のリスクが高いことなどの調査結果を報告しました。

つぎに、**健康寿命をのばそう！アワードの受賞事例**について地域包括支援センターふじトピアの内村センター長が、介護予防と日常生活支援分野において、地域のニーズに対しPDCAサイクルを回しながら多様な取組を実施したことを報告しました。

さらに健康推進課吉村主任主査が、**特定健診データや医療費、介護給付費などのデータ分析**による本市の強みや健康課題について報告しました。



地域別
解析継続中

担当地区(圏域)の情報交換会を実施 大いに盛り上がる！！



自治会の10支部を基本に、8つのグループに分かれ、地域包括支援センターが高齢者を中心とした担当地区の取組や支援事例を紹介し、健康推進課からは保健委員支部活動のテーマや取組内容、さらに健康課題を提供し、生活支援コーディネーターは地域づくりの取り組み状況についての情報を提供しました。



健康的な生活を習慣づけられる地域づくりを土台に、健康の維持・増進、疾病の早期発見早期治療、リハビリや重症化予防、さらには自立支援など、専門性を活かしながら、今後も継続して活動していく事を申し合わせました。